

# 発達障害への対応ver.2021

LD・ID・ADHD・ASD



Niigata Univ.-Nagasawa Labo.

# 1. 発達障害の特徴と判断

神経発達症群

限局性学習障害

注意欠如多動障害

自閉スペクトラム障害

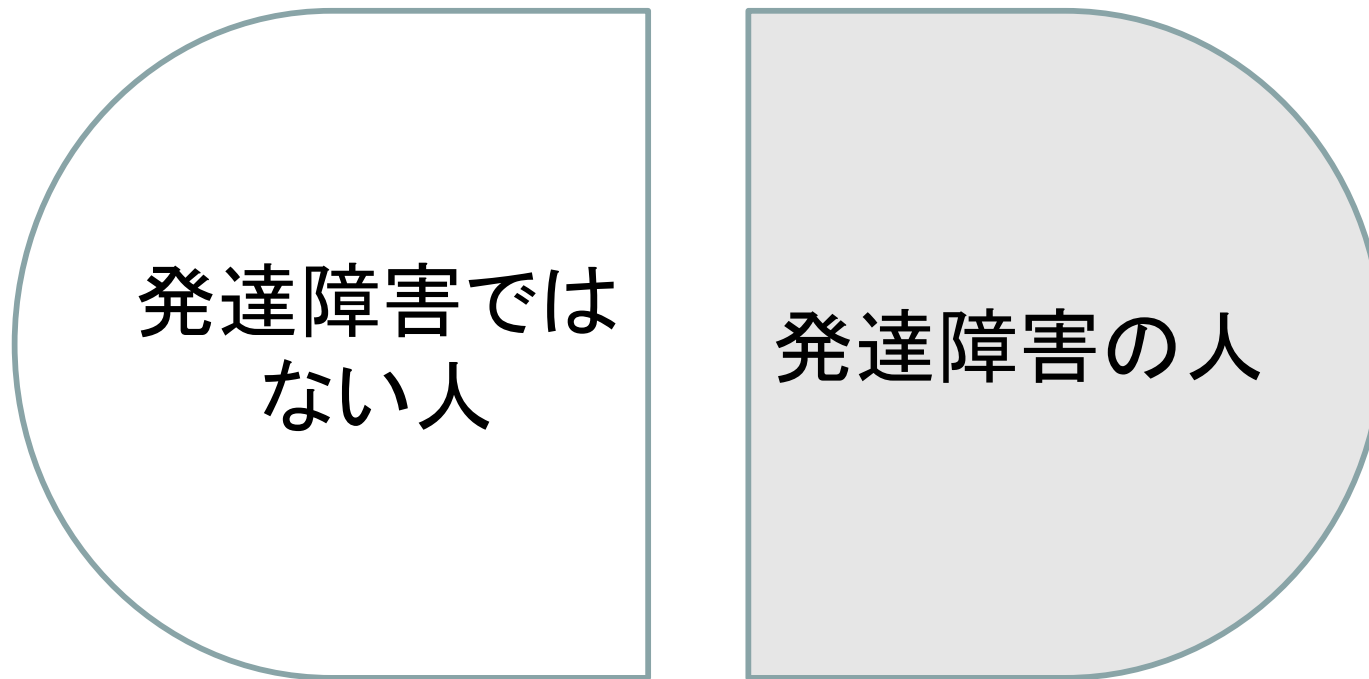
# 特性からの困難さ



- 勉強が苦手、嫌いになる
- 学校に行きたくなくなる、不登校
- しょっちゅうミスをし、注意されたり叱られたりする
- 人とぶつかり、人間関係が悪くなる
- 状況理解ができず、人とうまくかかわれない
- こだわりが強く、融通が利かない

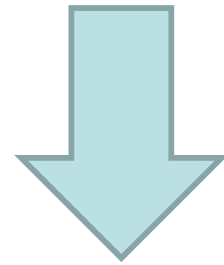
わざとやっているのではなく、特性からの困難さ

# どこが違うんでしょうか？



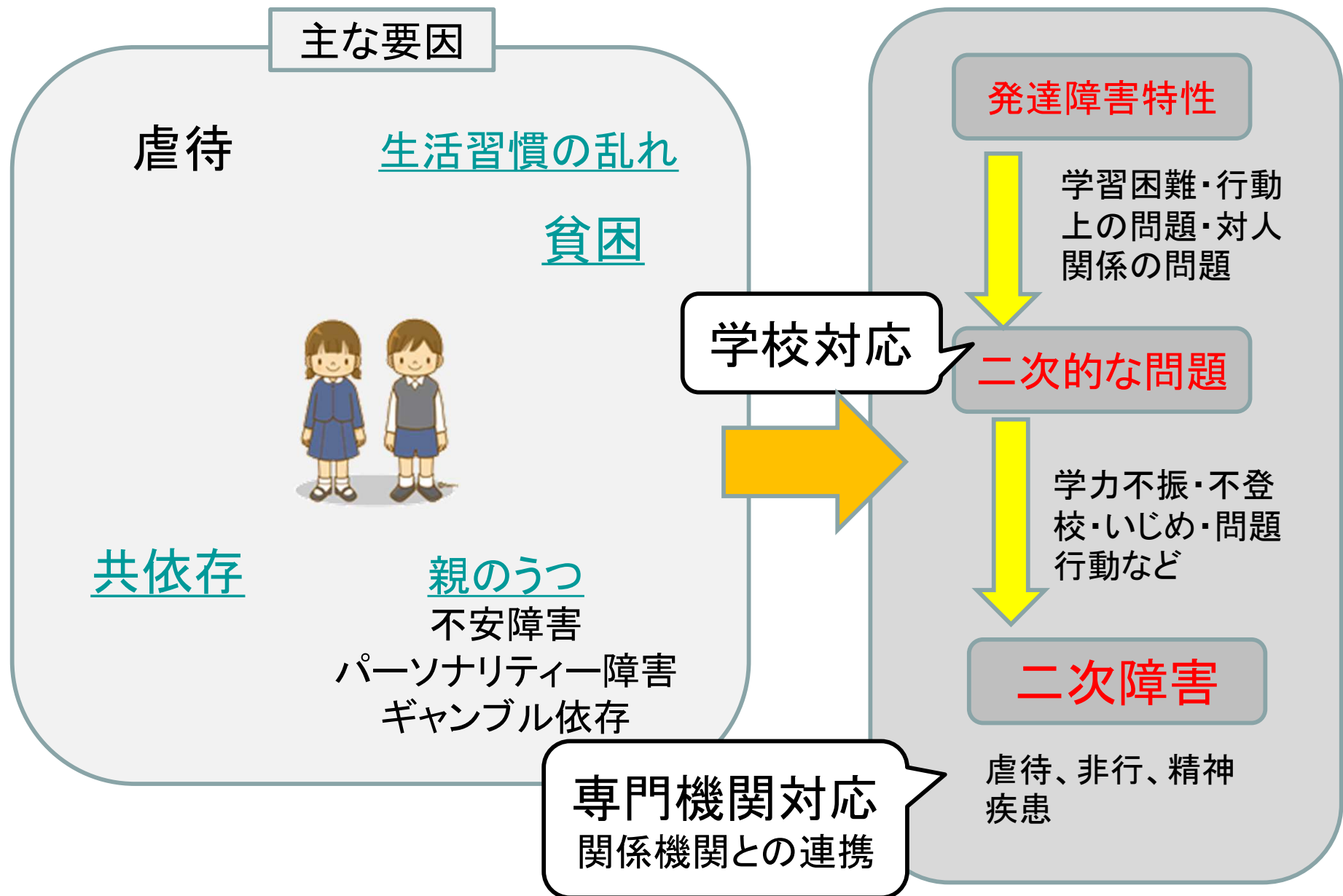
境界線がある？ ない？

特性が強く、  
本人が生きにくさを感じ、  
周囲に理解してほしい

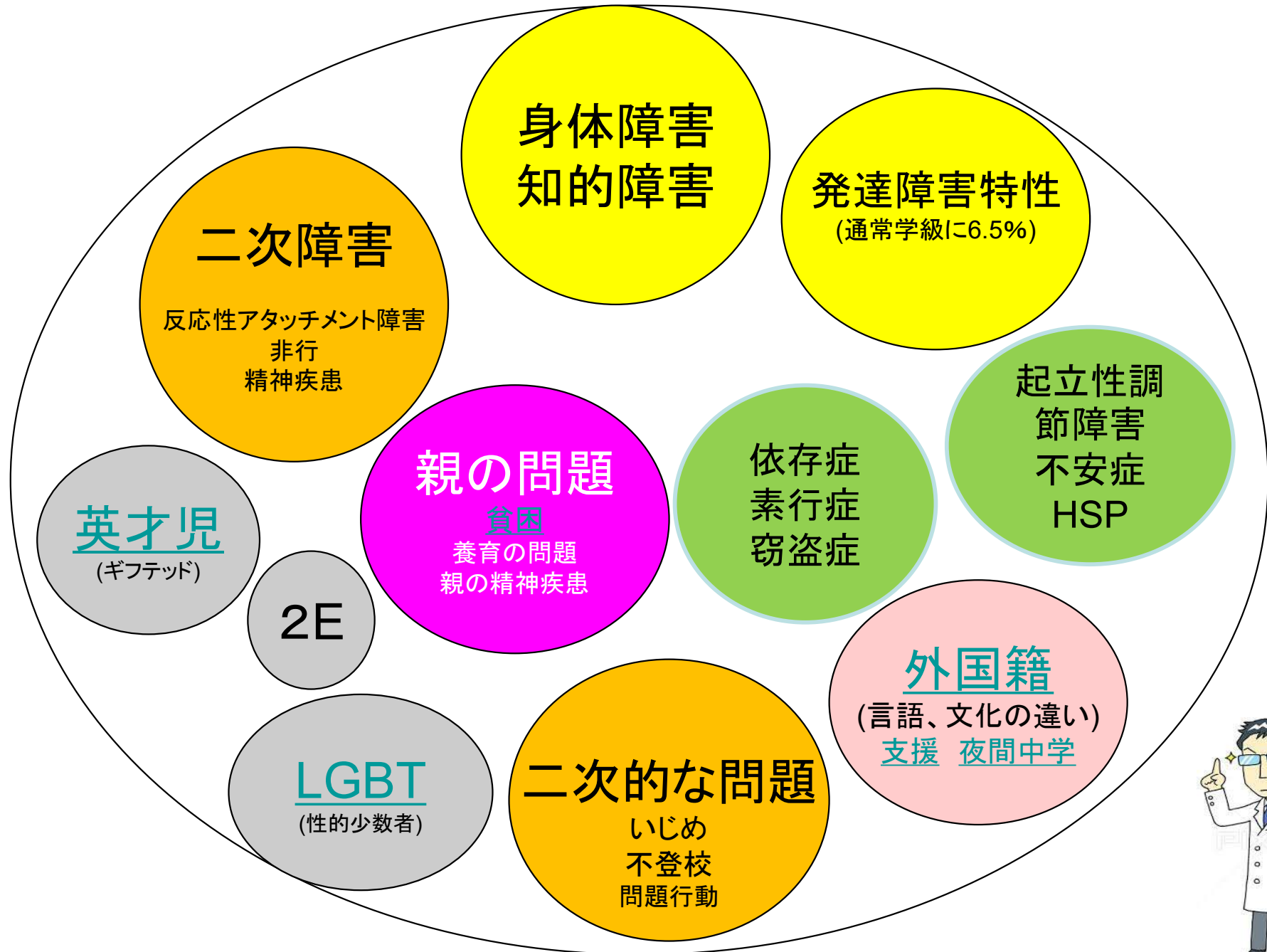


発達障害という診断

# 発達障害特性の要因と二次的な問題・二次障害



# 特別な支援を必要とする多様な子どもたち(例)





# 対応のポイント

## 1. 自己理解・周囲の理解

- 特性の理解と受容
- 本人のつらさを理解する努力を

## 2. 合理的配慮

教師の熱意だけでは子どもは救えない

- 本人中心の個別計画作成と実行
- ICTの活用

対話で一緒に考え実行

## 3. 教育の場の提供

- 特別支援学級、通級指導・適応教室
- 指導が活かされる生活の場

思い切った対応を考え、実行。リモート授業など



# 1-1 発達障害とは(診断名)

- 学習障害([LD](#))
  - 知的な遅れは見られないが、読み書き計算に困難さを示す
- 注意欠如多動障害([ADHD](#))
  - 不注意、多動、衝動性を示す、行動抑制の障害
- 自閉スペクトラム障害([ASD](#))
  - 対人関係など社会性の困難さと、こだわりなどの同一性保持を示す

知的な遅れを伴わない様々な適応上の困難さを持つグループ

# 1-2 ADHDとは？



# 注意欠如多動障害 (ADHD) とは

- 不注意
  - 不注意、注意の持続の困難
  - 聞いていない、物事をやり遂げられない
  - 順序立てられない、物をなくす、忘れる
- 多動
  - もじもじする、座ってられない、高いところに上がる
  - 静かに活動できない、しゃべりすぎる
- 衝動
  - すぐ答える、順番を待てない
  - 他人を妨害する、がまんできない、ゆっくり活動できない

ADHDとは自分の行動が抑制できない障害

# 大人のADHD(一例)

- 自己管理の弱さ
  - 時間、金銭、買い物、家事
- 正義感が強いがすぐにけんかになる
- 思いつくとすぐに行動するが遂行できない
- 集中力が持続しない
- 感情にムラがある
- アルコールや薬物依存ハイリスク(US)

あくまでも傾向。個人差や対応による差異が大きい

# ADHDの認知特性

- プランニングと注意維持の困難さ

計画性の甘さ、課題遂行の困難さ、(言い訳)

- 自己の能力過大評価

思い通りにならないことへの不満。周囲への悪影響

- ワーキングメモリの弱さ

聞いて理解する課題の困難さ。動機付けで改善？

- 読み能力の問題あり

学習障害のリスク

# 1-3 ASDとは？



# 自閉スペクトラム障害 (ASD) とは

## 1. 社会的コミュニケーション、相互作用の障害

- 社会的感情の相互関係の欠如 (失感情症Brett(2021))
- 非言語コミュニケーションの問題
- 年齢相応の社会関係の困難さ

## 2. 行動の特異性 (同一性保持、こだわり)

- 儀式的行動
- 常同的な反復行動
- 感覚の特異性(92%)
- 興味関心の特異性、狭さ

DSM-Vによる

相手の気持ちを推測する、理解する、共感する  
相手の気持ちが自分に伝わる・同じ気持ちになる

## 1. 社会的コミュニケーション、相互作用の障害

- 社会的感情の相互関係の欠如 (失感情症Brett(2021))
- 非言語コミュニケーションの問題

表情の読み取り、服装や髪型などから相手の状態を推測する、ことばの奥に隠された意図を読み取る、  
空気を読む

- 儀式的行動
- 常同的な反復行動
- 感覚の特異性(92%)
- 興味関心の特異性、狭さ

DSM-Vによる



# 大人のASD

- 場の空気が読めない(引いているのに気がつかない)
- 話題が共有できない(自分の興味のある話を放り込む)
- 相手の立場に立って考えられない
- 強いこだわりがある(商品、道順、番組など)
- 抜群に記憶力がいい(データ、時刻表、戦隊ものなど)
- マニアック(?)な趣味(ビデオデッキ、架線、地下鉄の音など)
- スケジュールを忠実に守る(パターン化した日課)
- 急に予定が変更になるとパニックを起こす

能力の著しい偏りから、対人関係、情緒の問題を引き起こす  
うつや不安症など二次障害になりやすい

# 認知特性(先行研究より)

- 感情認知の困難さ
  - 怒った顔の認知困難: 危険から身を守ることへの悪影響
  - 声からの感情認識の困難さ
- 未来に関する思考の困難さ、予測の苦手さ
- 実行機能の不全
  - 思考柔軟性の問題 → 不安障害ハイリスク
- 女性の場合ASD特性が緩和される(隠れる)
  - 高い言語運用と意味理解能力 [ASD女子への対応](#)

# ASDの二次障害

- ため込み症(Storch,2016)
- 自傷行為:28%(Soke,2016)
- HSP。聴覚過敏性(70%)(Carson,2021)
- 不確実性への適応困難、不安障害  
(Rogers,2018)
- ストーカーとみなされやすい(Stokes,2007)
- 拒食症。女子(Brede,2020)

# ためこみ症への対応

- これからのルール作り
  - 「入手ルート」を絞る
  - ものに対する保管期限をきめる
  - 透明な容器に入れる → 見える → 安心
- ものを一度減らす試みを
  - 「きれいになってありがとう」



# 最近の研究から(参考)

- 女性の場合高い処理速度と実行機能でASDがカモフラージュされる
  - Lehnhardt(2016); Wood-Downie(2020)
- アイデンティティー確立の困難さから、性的少数者の傾向が見られる。同性への性的志向の高さ
  - Rudolph(2018)Aut,48(2); Qualls(2018)Aut
- LGBTの割合の高さ。生物学的性が男子であることが多い
  - Heylens(2018)

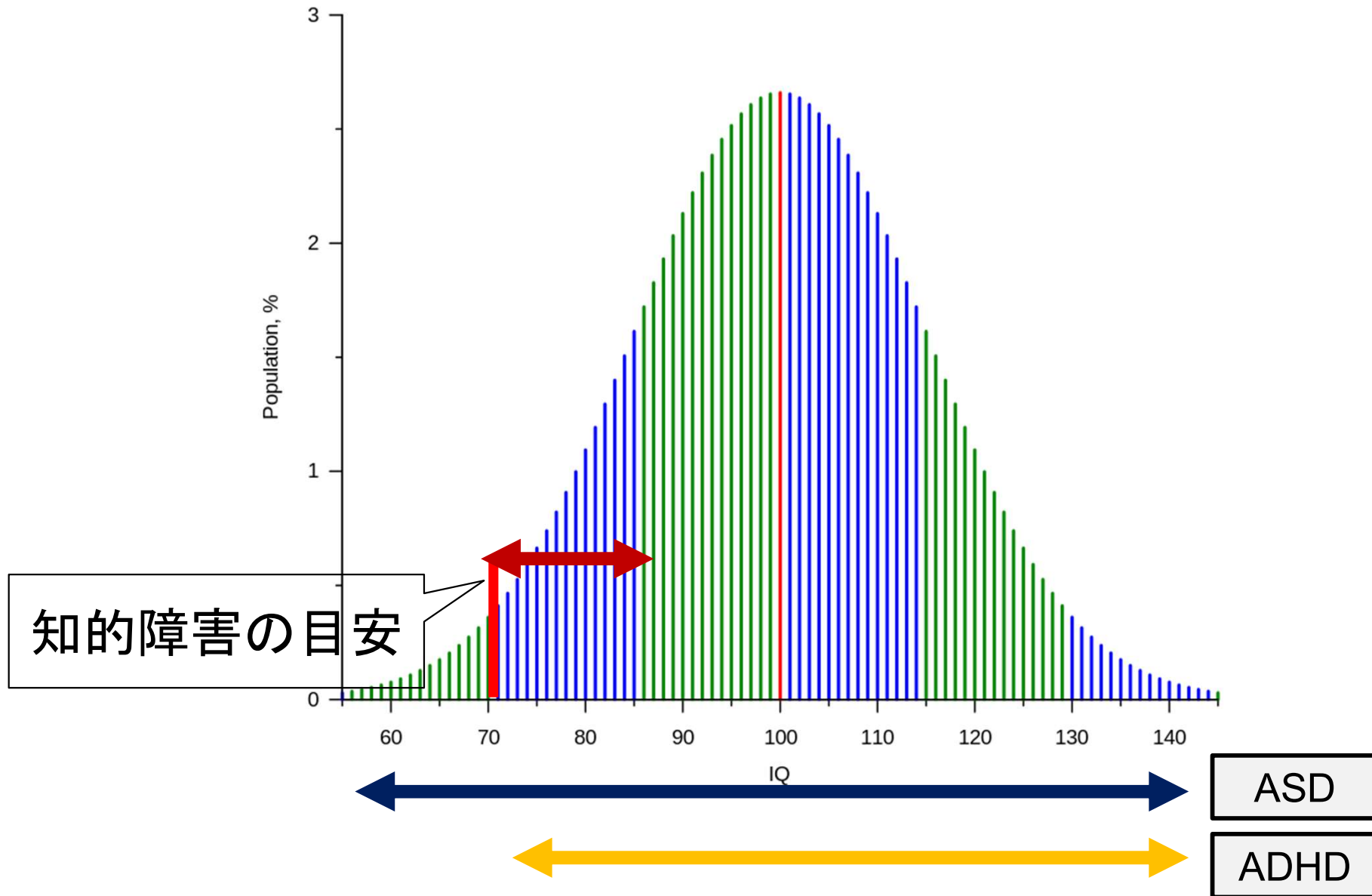
[思春期女性への支援](#)

# 1-4 学習障害(LD)とは？

- 聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態
  - 身体障害、知的障害などの障害がない
- 医学的には、読み障害、書字障害、算数障害などが知られている

LD とは知的な遅れのない学習困難  
教科学習が始まってみないとわからないことが多い  
移民など、文化的多様性( Freeman-Green,2021)

# 発達障害・知能の分布(概要)



# 知的(発達)障害の診断

## 1. 知的機能の欠如

- 知的能力、認知機能の障害
- 臨床評価と知能検査

両方当てはまる

## 2. 適応機能の欠如

- 日常生活に支障が生じているため、何らかの援助が必要とするもの
- 家庭や学校・職場での適応能力を総合的判断

## 3. 状態(特性)が発達期に現れる



# 知的障害への対応

赤ちゃん扱いは人権侵害

- 年齢相応の扱い
- 知的能力(精神年齢)にあった教え方
- 教えることを絞り、時間を確保
- できることから始め、できたときは必ず評価
- スモールステップで教える

理解できる説明

成功体験が大事

細やかなカリキュラム

- 体験を通して教える

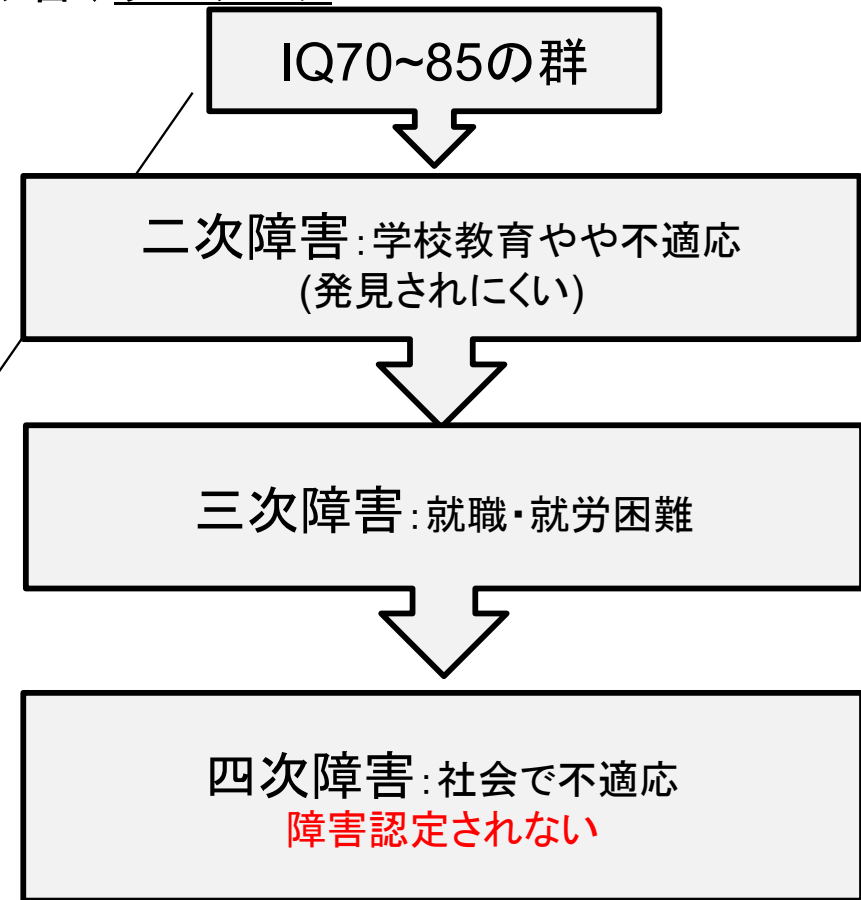
理論と実践を必ず組み合わせる

みんなと同じ、でもわかるように。体験、スモールステップ

# 知的障害ではないが・・・

(**実行機能**): ストレス対処の弱さ、適応行動に影響、うつリスク

1. **認知機能**の弱さ
2. 感情統制の弱さ
3. 融通の利かなさ
4. 不適切な自己評価
5. 対人スキルの乏しさ
6. 身体的不器用さ



小学校段階からうまくいっていないが、問題視されない  
社会で適応できないがHelpが言えない。制度で救われない

# 実行機能不全からうつの関係

情報化社会:  
早い処理速度が必要

対人関係の複雑さ:  
対人ストレス

実行機能不全  
実行機能の未熟さ

情報処理ダウン  
誤った情報処理

対人関係弱い  
社会的支援不足

否定的な認知スタイル・  
自己像

(参考) 幼少期のトラウマ  
→EF不全 (Kelder,2021)  
自己決定スキルの未熟  
さとEF,うつとの関連  
(Tomaszewski,2021)

Becker(2021)  
Lee(2021)  
Wojcieszak(2021)  
Zhang(2020)

うつ

# かかわり(説明など)の工夫

- 子どもの実態：情報がそろっていない(部分部分欠けている)、整理できていない、相手の意図を読めていない、その結果動けない・説明できない
- 必要な情報を一つ一つ視覚化し(ホワイトボードなど活用)、子どもに確認し、情報をわかりやすく説明して、どうすればいいのかを一緒に考える

事例



担任が言ったこと

担任の気持ち

「いいかげんにしなさい！」

言われなくても課題を  
やってほしい

私：  
明日から、自主的に  
課題をする



## 2. ADHDの対応



## 2-1 ADHDのウリは？

- 創造性の高さ

芸術活動、ユニークな意見、発想力の豊かさを評価する

- 人助けが好き、行動力がある

人の役に立つことで自己肯定感を育てる

- 変化に敏感

緊急時に思わぬ力を発揮することも

- 意外にも・・・

おっとりしている、好きなことに抜群の集中、正義感が強い

## 2-2 ADHDに求められること

- 自己理解

行動抑制の弱さとさまざまな困難、自分のウリ

- 自己管理

行動抑制の仕方を学ぶ、実施する、振り返る

- 自己解決

解決の仕方を教えてもらい、自分で考え解決する

- 自己主張

気持ちを理解し、望ましい態度・かかわり方を学ぶ



# 自己解決から自己肯定感へ

1. 対話
2. 気づきを促す(問題意識)
3. 生徒の自覚(目標)
4. 実行の具体策(支援など)
5. 気づきを促す(変化)
6. 生徒の自覚(成長)



# 自己解決から自己肯定感へ

## 1. 対話

信頼関係の構築。信頼関係のある人

## 2. 気づきを促す

情報の提示。悩み・問題・今までの対応と結果など

## 3. 生徒の自覚(目標)

達成可能な目標、とりあえずできること

## 4. 実行の具体策

本人が受け入れられる支援の提案、合意形成

## 5. 気づきを促す

変化、うまくいったこと、その理由などの振り返り

## 6. 生徒の自覚

自分自身の見方を変える。成長の実感。自己肯定感

対話による「気づき」と「自覚」  
主体的な学びによる「自己理解」と「自己肯定感」

# 不登校への適用

1. 対話

スクールカウンセラー

2. 気づきを促す

家にいるメリット・デメリット、登校のメリット・心配なこと

3. 生徒の自覚(目標)

部分登校ならできるかも

4. 実行の具体策

居場所の確保、人に会わない工夫、学習支援など

5. 気づきを促す

週2登校でき、教師とバドミントンした(楽しい)

6. 生徒の自覚

今までの生活を変えられるんだ！

現状を冷静に俯瞰し、できることを自己選択  
一歩前に進むともっと先に行ける可能性を感じ取る

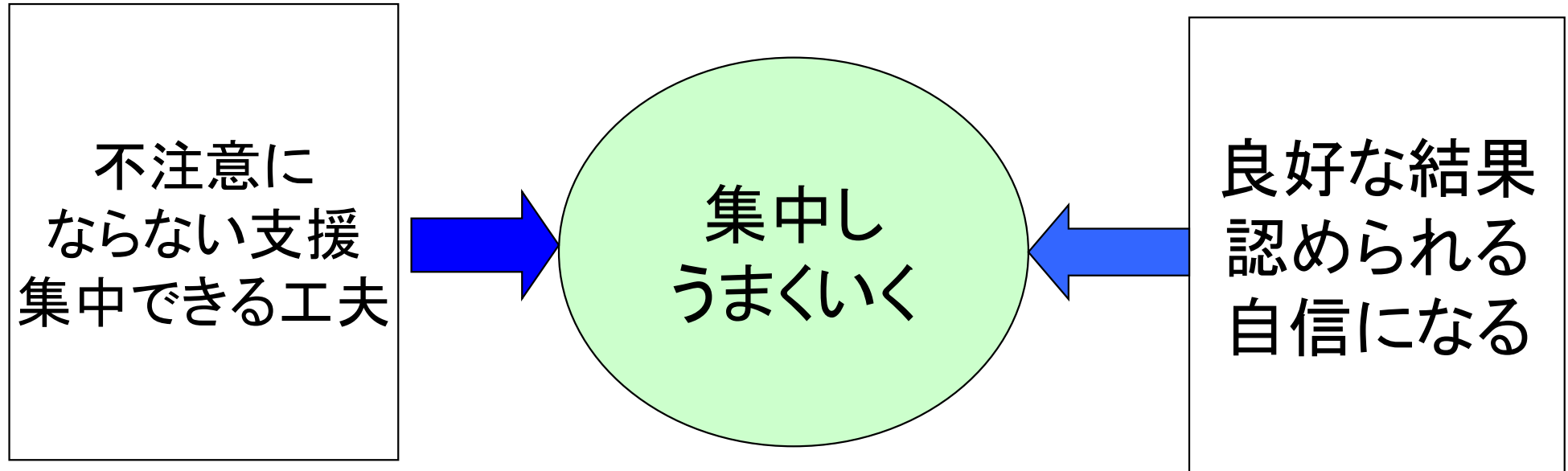
## 2-3 不注意

応用行動分析に基づく対応

# 不注意場面の記録と分析(例)

状況・課題・条件	不注意による失敗	対応・反応・結果
国語 漢字の書き取りテスト 隣の生徒に話しかける	時間内に書き取りができない	教師から注意される 隣の生徒から苦情を言われる
昼休み 仲間とふざけて廊下を走り回る 多くの生徒が往来	あやまって女子生徒を押し倒す	女子生徒が泣く その生徒の友だち(複数)から責められる
帰りのHL 明日の予定を聞き、手帳に書き込む	書いた手帳を机に入れてしまう	母親から注意される 持ち物をそろえられない

# 分析から支援を考える(気づく)



不注意による失敗を待つのではなく、失敗しない(させない)工夫  
(集中できて)うまくいく成功体験

# 不注意を防ぐ事前の対応

状況・課題・条件	不注意による失敗	対応・反応・結果
国語 漢字の書き取りテスト 隣の生徒に話しかける	対話による事前の約束。セルフモニタリング 周囲の生徒への協力依頼 問題数を減らす 集中できる環境。集中できる場所での実施	
昼休み 仲間とふざけて廊下を 回り回る 多くの生徒が往来	対話による事前の約束。ルール確認 廊下で危険ポイント・状況確認。セルフモニタリング 周囲の生徒への協力依頼	
帰りのHL 明日の予定を聞き、手帳 に書き込む	帰りのHLの手続きの意識化(手続き表など) バッグに入れる工夫(ノートのしおり「忘れるな!」) 教師による声かけ	

生徒自身が、これらの必要性に気づき受け入れること

# まとめ

- 観察を通して、不注意の過程と結果を知る
- 不注意にならない対応をすることで、事態がよくなることに気づく
- 変えられることや受け入れられる支援を自分できめる(個別の指導計画の作成)
- ふりかえりをし、少しでも実行できたことを理解する

行動観察、自己理解と自己解決による  
不注意への対応



### 3. ASDの対応



# 自閉スペクトラム障害 (ASD) とは

1. 社会的コミュニケーション、相互作用の障害
  - 社会的感情の相互関係の欠如
  - 非言語コミュニケーションの問題
  - 年齢相応の社会関係の困難さ
2. 行動の特異性 (同一性保持、こだわり)
  - 儀式的行動
  - 常同的な反復行動
  - 感覚の特異性
  - 興味関心の特異性、狭さ

DSM-Vによる

# 3-1 ASDのウリは？

- 正義感が強い、まじめ

主張の正当性を評価し、対応の仕方を教える

- 論理的思考、理数系に強さを発揮

特性にあった進路、活動を勧める

- 記憶力が抜群

学習や趣味に生かす。みんなの前で評価する

- パソコンなど、機器関係に強さを発揮

問題行動や困難さへの対応を考える前に、  
発達障害のプラスの面を評価すること

## 3-2 ASDに求められること

- 自己理解

他者理解の困難さ、自己管理の弱さ、自分のウリ

- 自己管理

課題の優先順位など、スケジュール管理。支援ツール

- 自己解決

解決の「形」を知り、形に従い問題を乗り越える

- 自己主張

SSTやカウンセリングで、人とのつきあい方を学ぶ

## 3-3 具体的な会話を

- 具体的な約束を

× 遅れないように 〇8:30までに教室に入りなさい

- わかりやすい表現で

× 最後までがんばって拭きなさい 〇5往復拭きなさい

- 相手の過激な表現に惑わされない

– 「死にたい」

死にたいほどつらい、とても嫌なことがあった  
という意味

事実に基づく、客観的な表現、子どもの発言を翻訳する

# 約束表

約束の意味と具体例を示すこと

・約束：同級生には親切にしましょう。

・意味：相手が困っているとき、相手が「してほしい」と言ったことをしてあげる。

## • 親切

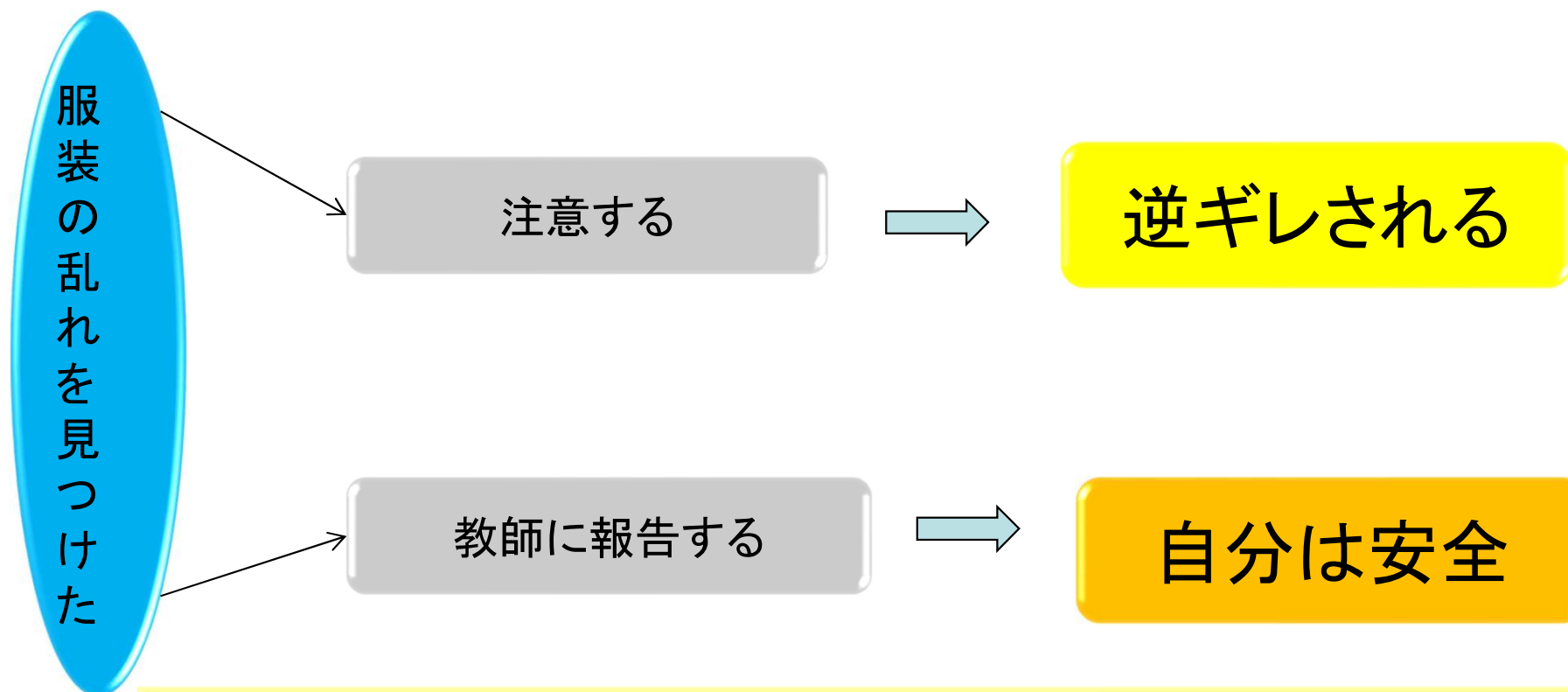
- ものを貸す
- 大丈夫、と言う

## • 親切でない

- ものを貸さない
- 無視する

約束、意味、具体例をわかりやすく示しながら、  
対応を教えること

## 3-4 本人の訴えを聞き、自己選択支援



本人の意見と、通常の見つけの結果を比べ、  
どうするか(どちらが自分にとって利益になるか、不利益  
か)を今一度考えてもらう

Gosling(2018);Mosner(2017)

## 3-5 指導するときのポイント

- アドバイスは具体的に
  - ルール化、箇条書きに、数値化する
- できないことより長所をくどいほど伝える
- 仲間意識は持たない、気持ちを押しつけない
  - 共感性の困難さがあるため
- 事実と対策を淡々と指摘する

自分が注意したら逆ギレされて被害にあう  
先生に報告すれば自分は安全で教師が注意



# 不幸な経験をしないために

- 感情理解の乏しさ

[Cross\(2019\)](#)

[視覚支援を用いる](#)など、相手の感情が理解できるよう支援

- 融通のきかなさ

善し悪し、常識で説得ではなく、選択肢と結果を示す

- 不適切な自己評価

達成可能な具体目標と、「できた」ことへの確かな評価

- 対人スキルの乏しさ

計画的なSSTと日常生活への般化を

## 3-6 ソーシャルスキルトレーニング

- 会話の基本的なパターンを練習する

会話の始め方・終わり方、頷き(同期)、話題の共有、「ところで…」

- 今までの経験を振り返り、適切な行動を教える

自分を客観視できる場合。共感することを忘れずに

- 非言語行動を教える

視線、姿勢、体の向き  
対人距離、しぐさなど

- 「空気」の読み方を教える

表情の理解、今話題になっていること、対応方法

内面ではなく、行動様式(表)を具体的に教えること

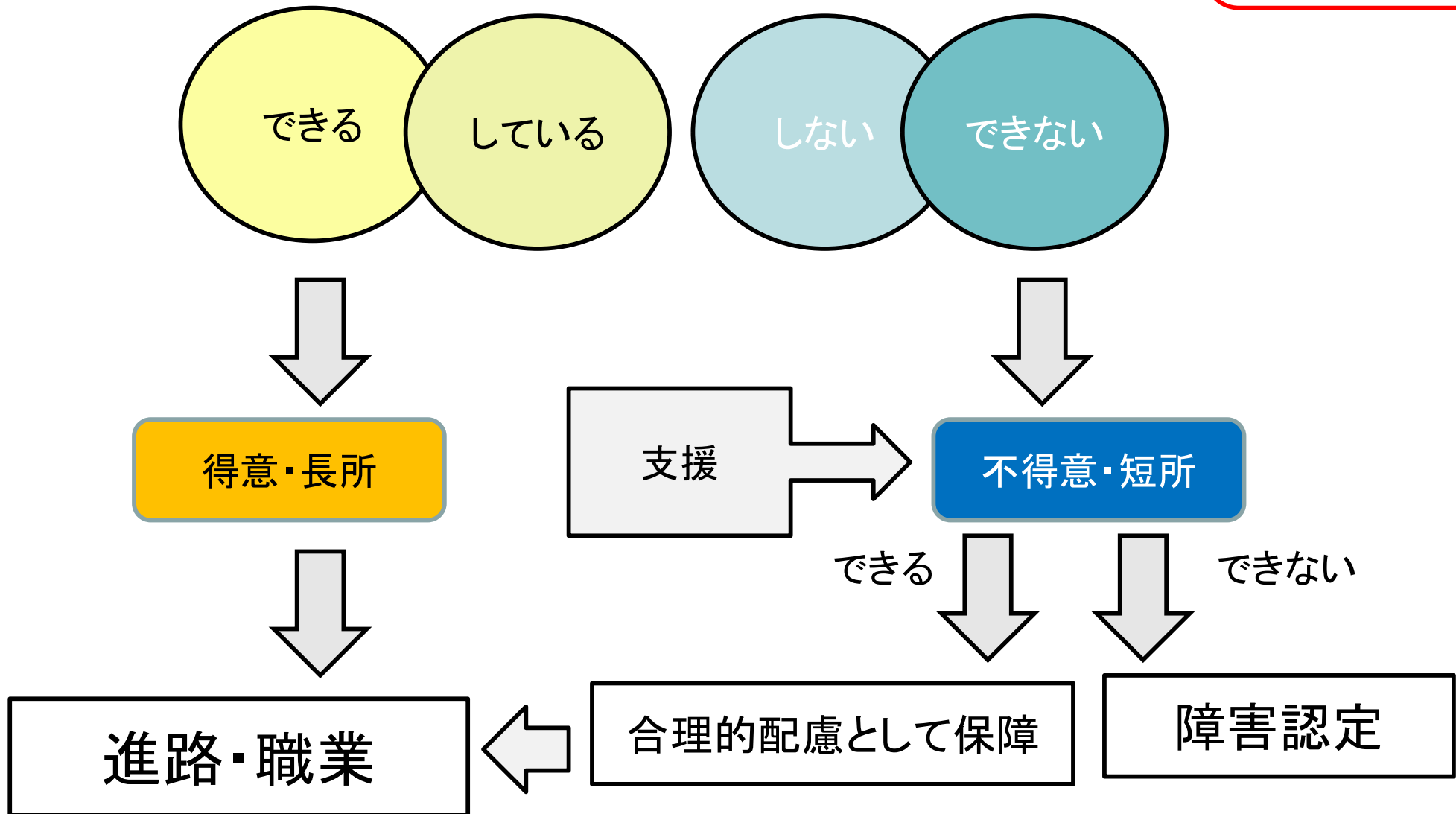
# スポーツ

スポーツで社会性の  
育成を

- スイミング
  - Zanobini(2019) Aut,49(10)
- ゴルフ
  - Shanok(2019) Aut,49(11)
- サッカー
  - Howells (2020)
- 空手、総合格闘技
  - Bahrami(2016)Aut,46(3);Phung(2019)Aut,49(9)
- ジョギング:感情のコントロール
  - Tse(2020)

# 3-7 自己理解と進路・支援

冷静に区別できることが大切



## 3-8 予後を左右する要因

要因	将来のQOLへの影響
IQ	?
共同注視・模倣	+
適応行動	+
幼児期の言語使用能力	+
問題行動	-
自閉症特性(制限された反復行動)	-
余暇(有)	+
自己決定	+

(参考) 知的障害+ASD: 加齢と共に医療的ニーズ高まる。Shea(2018)

高齢ASD(知的障害なし): 精神疾患とそれに伴う医療的ケアの必要性。Nylander(2018)

# 発達障害：まとめ **New**

- 基本をしっかり

特性と対応、支援の基本内容を理解し実行

- 個人差がありますよ

同じ障害でも対応が同じとは限らない

- 紛らわしい子どももたくさん

RAD、親の影響、ギフテッド・2E、HSC...

- 忘れてならない本人中心

子どもが困っていること、して欲しいこと、  
なりたい自分をしっかり聴こう

# 長澤研究室



特別支援教育・発達障害の情報  
講演会の資料

